

# 令和年4年度 さいたま市立浦和大里小学校 学校評価 結果

## (1) 教育目標・経営方針・重点スローガン

児童 A そう思う B どちらかといえば そう思う C どちらかといえば D そう思わない

	A	B	C	D
将来の夢や目標をもっている。	59.1	21.8	9.8	9.3
自分にはよいところがある。	55.7	31.3	7.1	5.9

保護者・地域 A よく出来ている B 大体出来ている C あまり出来ていない D 出来ていない E 分からない

	A	B	C	D	E
学校の教育目標「夢と希望をもち、人間性豊かで心身ともにたくましい子の育成」について	26.7	56.4	4.0	0.8	12.1
経営方針「認め・褒め・励ます教育」について	35.1	50.1	5.6	1.5	7.7
今年度の重点スローガン「喜んで登校、笑顔で下校」について	37.6	50.5	6.9	0.8	4.2

教職員 A よくできた B 大体できた C あまり出来ていない D 出来ていない

	A	B	C	D
学校の教育目標「夢と希望をもち、人間性豊かで心身ともにたくましい子の育成」～認め合い・学び合い・共に育つ～の実現に向けて、共通理解・共通行動できている。	48.7	48.7	2.6	0.0
校長の経営方針「認め・褒める・励ます教育」の実現に向けて、共通理解・共通行動できている。	53.8	46.2	0.0	0.0
校長の今年度の重点スローガン「喜んで登校、笑顔で下校」の実現に向けて、共通理解・共通行動できている。	52.6	47.4	0.0	0.0
道徳教育・人権教育の充実に向けて、全教職員で協力し実施できている。	44.7	55.3	0.0	0.0
児童の運動習慣の確立及び体力向上に向けた取組が実施できている。	55.3	44.7	0.0	0.0
体験活動や学校行事などが、適切な管理体制・組織体制の下で実施できている。	55.3	44.7	0.0	0.0

## (2) 児童の学習・運動の取組状況

児童 A そう思う B どちらかといえば そう思う C どちらかといえば D そう思わない

	A	B	C	D
授業中、勉強をがんばっている。	66.8	27.5	4.0	1.7
授業中、先生や友達の話、きちんと聞いている。	63.5	31.8	3.2	1.5
授業中、自分の考えを分かりやすく友達に伝えている。	42.9	42.0	10.9	4.1
体育の授業のとき、元気よく運動している。	76.1	18.7	3.9	1.4
分からないことがあったら、先生に聞くことができる。	54.7	31.1	10.5	3.7
タブレットを使って学習することができる。	73.1	19.5	5.3	2.1
休み時間は、元気に外で遊んでいる。	48.5	20.8	17.4	13.4

保護者・地域 A よく出来ている B 大体出来ている C あまり出来ていない D 出来ていない E 分からない

	A	B	C	D	E

学校は、子どもに分かりやすく楽しい学習になるように工夫している。	32.6	51.6	5.6	1.5	8.8
学校は、子どもが主体的に学習する態度が身に付くように工夫している。	25.5	52.6	9.2	1.3	11.5
学校は、子どもの聞く力を伸ばすように指導している。	26.3	52.2	6.3	1.0	14.2
学校は、子どもの伝える力を伸ばすように指導している。	26.3	51.6	6.9	1.3	14.0
学校は、GIGA スクール構想の推進（児童のタブレット端末の活用、授業での ICT 機器の活用など）に取り組んでいる。	24.4	47.8	12.5	2.5	12.7
学校は、子どもの体力の向上や運動経験の蓄積を図っている。	29.2	55.5	6.3	1.0	7.9

教職員

A よくできた B 大体できた C あまり出来ていない D 出来ていない

	A	B	C	D
年間指導計画に基づき、各教科の授業を実施している。	75.7	24.3	0.0	0.0
分かりやすい説明、適切な板書、授業規律の徹底などに努めている。（授業マネジメント）	55.6	41.7	2.8	0.0
復習問題、練習問題、授業の途中や最後の学習内容の確認など、指導の工夫により、基礎学力の定着を図っている。（基礎アップ）	51.4	48.6	0.0	0.0
めあてや目標の提示、ICT 活用、時にはユーモアや世の中の出来事と結び付けるなど、児童の興味関心を高めた学習指導を行っている。（授業スキル）	57.6	36.4	6.1	0.0
問題の解決に向け、自分一人で考えたり、友達同士で話し合ったりするなど、児童の主体的・能動的・協働的な学習活動を取り入れている。（アクティブラーニング）	47.1	50.0	2.9	0.0
間違えたり分からなかったりしても、恥ずかしくない雰囲気醸成している。（4つの因子以外）	38.9	55.6	5.6	0.0
教科書を読んだり話を聞いたりするだけでなく、体験・実験的な活動を取り入れている。（4つの因子以外）	52.8	38.9	8.3	0.0
GIGA スクール構想を受けて、個別最適な学びや協働的な学びを意識した取組を行っている。	28.6	48.6	22.9	0.0
スクールアシスタントや GST など、授業者2人以上の少人数指導や TT の授業を、教職員間の協力のもと、充実できている。	38.9	41.7	19.4	0.0

### (3) 児童の生活・行動

児童

A そう思う B どちらかといえば そう思う C どちらかといえば D そう思わない

	A	B	C	D
学校は楽しい。	64.3	26.4	6.3	3.0
学校のきまりを守っている。	47.2	43.2	8.1	1.4
あいさつや返事をしている。	62.8	27.8	7.3	2.1
「ありがとう」と「ごめんなさい」を言える。	68.8	25.9	3.9	1.4
時間を守って生活をしている。	51.4	39.1	6.9	2.6
給食を好き嫌いをせず、残さず食べている。	59.3	21.7	12.3	6.8
給食当番や掃除当番にしっかり取り組んでいる。	66.7	28.1	3.8	1.4
安全に気をつけて生活している。	71.4	23.5	3.5	1.6

保護者・地域 A よく出来ている B 大体出来ている C あまり出来ていない D 出来ていない E 分からない

	A	B	C	D	E
学校は「おはよう」「はい」「ありがとう」「ごめんなさい」など心を潤す4つの言葉を意識した指導をしている。	35.1	49.9	3.3	0.4	11.3
学校は、時間を意識して生活するように指導している。	37.6	52.6	3.3	0.2	6.3
学校は、友達となかよく生活するよう支援している。	36.7	52.4	4.2	0.6	6.1
学校は、規則正しい生活が身に付くように指導している。	37.0	54.5	1.7	0.2	6.7
学校は、子どもが本に親しみをもち、進んで読書をするように取り組んでいる。	41.3	44.5	7.5	1.0	5.6

教職員 A よくできた B 大体できた C あまり出来ていない D 出来ていない

	A	B	C	D
児童が主体的・自律的に行動でき、自らの言動に責任を負うことができるようになるための指導の工夫をしている。	38.9	55.6	5.6	0.0
児童の規範意識の向上を図る指導を工夫している。	47.2	52.8	0.0	0.0
自分を大切にし他者を思いやる心など、豊かな心の育成に向けた取組ができている。	54.3	45.7	0.0	0.0
「心を潤す4つの言葉」の推進と定着を図っている。	61.1	36.1	2.8	0.0
児童が落ち着いて学習、生活できる環境整備に努めている。	60.0	40.0	0.0	0.0

(4) 学校の生徒指導・いじめ・欠席児童への対応・教育相談・特別支援教育の取組状況

児童 A そう思う B どちらかといえば そう思う C どちらかといえば D そう思わない

	A	B	C	D
困ったり、なやんだりしたときには、だれかに相談しようと思う。	59.9	26.3	7.9	5.9
友だちとなかよく生活している。	77.4	17.8	3.4	1.4
人が困っているときには、進んで助けている。	58.4	30.9	6.8	3.8

保護者・地域 A よく出来ている B 大体出来ている C あまり出来ていない D 出来ていない E 分からない

	A	B	C	D	E
学校は、児童間の諸問題について適切に対処できている。	27.1	47.8	4.8	2.3	18.0
学校は、児童や保護者からの相談や要望に適切に対応できている。	35.7	48.9	3.8	1.5	10.2

教職員 A よくできた B 大体できた C あまり出来ていない D 出来ていない

	A	B	C	D
全教職員の共通理解・共通行動で、生徒指導に取り組んでいる。(あいさつ・名札・廊下歩行など)	42.1	57.9	0.0	0.0
生徒指導部会を中心に、報告・連絡・相談・見届けが行えている。	59.5	40.5	0.0	0.0
「児童生徒の心のサポート手引き」を活用し、緊急度に応じた対応ができている。	48.6	48.6	2.7	0.0
「人間関係プログラム」の授業の充実に向け、指導方法の改善に努めている。	30.6	52.8	13.9	2.8

いじめが発生した場合、いじめの通報を受理した場合、いじめの疑いやけんか、ふざけ合いであっても、迅速かつ適切な対応、確実な報告・連絡・相談ができています。	63.9	36.1	0.0	0.0
児童の欠席状況に応じて、迅速かつ適切な対応ができています。	62.2	35.1	2.7	0.0
児童の発する小さなサインを見逃さずに、共感的に理解し、指導・支援ができています。	50.0	50.0	0.0	0.0
児童や保護者からの相談に、適切に対応ができています。	47.4	50.0	2.6	0.0
「心と生活のアンケート」の結果に基づく面談を実施し、心のサポートへの取組が行えている。	60.0	40.0	0.0	0.0
スクールカウンセラーやソーシャルワーカー、さわやか相談員の専門的な助言を生かした支援を、保護者と共に組織的に行っている。	45.9	54.1	0.0	0.0
個別の指導計画や個別の教育支援計画を適切に作成し、実施ができています。	48.6	45.7	5.7	0.0

(5) 安全管理・環境整備の状況

保護者・地域 Aよく出来ている B大体出来ている Cあまり出来ていない D出来ていない E分からない

	A	B	C	D	E
学校は、児童が安全に過ごせるように施設等の点検・整備を適切に行っている。	33.8	49.3	0.6	0.0	16.3
学校は環境（美化・緑化）を整え、きれいな学校づくりに取り組んでいる。	35.5	55.9	2.1	0.4	6.1
学校の安心メールは効果的に活用されている。	49.1	47.6	1.3	0.6	1.5

教職員

Aよくできた B大体できた Cあまり出来ていない D出来ていない

	A	B	C	D
安全点検を確実に実施ができています。	74.4	25.6	0.0	0.0
「危機管理対応マニュアル」に基づき、適切に対応ができています。	65.0	35.0	0.0	0.0
「ASUKA モデル」に基づき、体育活動時のブリーフィングや健康観察を含め、適切に実施している。	73.7	23.7	2.6	0.0
安全教育を、各教科や特別活動等で、計画的・継続的に指導している。	63.9	33.3	2.8	0.0
日常の健康観察を適切に実施している。	76.3	23.7	0.0	0.0
保健教育を、各教科や特別活動等で、計画的・継続的に指導している。	55.6	38.9	5.6	0.0
日々の給食指導やアレルギー対応が適切に行われている。	86.5	13.5	0.0	0.0
食事のマナーや感謝の心等、食育を計画的・継続的に指導している。	62.2	37.8	0.0	0.0
日々の清掃指導を計画的・継続的に指導している。	59.5	40.5	0.0	0.0

(6) 学校と保護者・地域との連携、学校に関する情報公開の状況

保護者・地域 Aよく出来ている B大体出来ている Cあまり出来ていない D出来ていない E分からない

	A	B	C	D	E
学校から出される便りやホームページ等で、児童の様子や学校の取組が分かる。	26.9	61.6	7.5	1.3	2.7

授業参観・学校行事等を通して学校を知る機会となっている。	42.2	53.7	2.3	0.2	1.7
学校は保護者・地域ボランティア、チャレンジスクール等で、保護者・地域の教育資源を効果的に活用している。	23.6	48.4	5.8	0.4	21.7

教職員

A よくできた B 大体できた C あまり出来ていない D 出来ていない

	A	B	C	D
保護者や地域から寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	28.9	68.4	2.6	0.0
地域の人的・物的な教育資源を積極的によりよい授業づくりに活用している。	22.9	60.0	17.1	0.0
学年だより等や懇談会等で、学校の取組や成果等の情報公開に努めている。	60.5	39.5	0.0	0.0
授業参観・学校行事等を通して、学校を十分に公開している。	63.2	36.8	0.0	0.0

令和4年度も学校評価にご協力いただきありがとうございました。児童、保護者・地域、教職員の結果を報告いたします。

今年度もコロナ対応も含め、各対応において、学校評価の意見欄には温かいお言葉をたくさんいただきありがとうございました。また、いただいた様々なご意見に関しましては、職員で情報を共有し、検討・改善していきます。